

タテ線譜とは何か：

タテ線譜とは、音楽理論優先の五線記譜法と異なり、タテ線譜上の音符を直接、鍵盤上に移行することで演奏できるように開発された記譜法である。鍵盤楽器をやさしく、楽しむための最適なもの。そのポイントは、既知曲を口ずさむことでメロディやリズムを体感し、それらを鍵盤上に反映することにある。

自動伴奏システム「ユリディス」とは何か：

従来の自動伴奏は人が楽器に合わせるものだったが、ユリディスは誤りを含んだ人の演奏に追従してくれる（人に合わせてくれる）画期的な自動伴奏である。練習時には音の誤り・欠落・余分な音の挿入のほか、特に前の楽譜位置への「ジャンプ」が生じやすいが、これらがあっても伴奏が破綻しない方法を開発。テンポ変動や演奏の中断にも追従してくれる。任意の鍵の押下でも伴奏が進行するモードも備えている。

活動の経緯：

2013 年第 9 回全国大会（引用：学会誌 Vol.9,2014）

・研究発表

阿方俊、五十嵐優： M.L.教室を利用したタテ線譜による鍵盤楽器導入

～シニア対象の実践を通して～

2014年第10回全国大会（引用：学会誌 Vol.10,2015）

・研究発表

阿方俊、友永和恵： タテ線譜による鍵盤楽器導入

—平成音楽大学こども学科での試み—

2015年第11回全国大会（引用：学会誌 Vol.11,2016）

・ラウンドテーブル タテ線譜メソッドとは何か-1

—さまざまな視点からメソッドを考える—

話題提供

- 1) 阿方俊、内田智子： 昭和音大付属教室のシニア対象講座の事例
- 2) 秋谷万里子： 和幸楽器（さいたま市）シニア対象講座の事例
- 3) 星野博： 昭和音大付属教室講座「楽しく鍵盤楽器を弾こう」受講生からの報告
- 4) 齋藤康之： 木更津高専「超初心者向け」講座事例
- 5) 垣浪文美香： 東京学芸大付属大泉小 鍵盤ハーモニカ授業の事例
- 6) 友永和恵： 平成音大 ピアノ未経験学生への実施例
- 7) 坂井康二： ポータブル電子キーボードを用いたボランティア活動実施状況

・研究発表

- 1) 齋藤康之： タテ線譜による若年層のピアノ演奏

—ピアノ演奏への心理的距離の短縮—

- 2) 阿方俊、友永和恵： タテ線譜メソッド経過発表—2

—導入・五線譜への移行・レッスンの流れ—

- 3) 和智正忠： 電子キーボードによる音楽活動と健康増進に関する一考察

2016年第12回全国大会（引用：学会誌 Vol.12,2017）

- ・ラウンドテーブル タテ線譜メソッドとは何か- II

—シニア世代から小学生まで広がったメソッド実践報告—

話題提供

- 1) 齋藤康之： タテ線譜と Eurydice を用いたピアノ初心者向け演奏システム
—木更津高専オープンキャンパス」での適用—
- 2) 松沢和江 et al.： 昭和音大付属教室講座「楽しく鍵盤楽器を弾こう」受講生からの報告
- 3) タテ線譜メソッド指導者現状報告

秋谷万里子、垣浪文美香、安武秀

- ・研究発表

- 1) 秋谷万里子： 大宮和幸楽器シニア対象キーボード講座
—タテ線譜の改良と身体にやさしい双方の早期導入—
- 2) 垣浪文美香： 小学校におけるタテ線譜を用いた鍵盤ハーモニカの学習について

2017年第13回全国大会（引用：学会誌 Vol.13,2018）

- ・ラウンドテーブル タテ線譜メソッドとは何か- III

～教材と指導、タテ線譜への変換、ユリディスの活用を通して～

メインテーマ関連スピーチ

- 1) 阿方俊： タテ線譜メソッド「教材と指導」の現状
- 2) 齋藤康之： 五線譜からタテ線譜への「変換研究」の現状

話題提供

- 1) 坂井康二： 高齢者施設におけるタテ線譜とユリディスの実際
- 2) 小熊達弥： ユリディス活用の集いと 3D システム出力の試み
- 3) 橘川琢： 高齢者施設におけるタテ線譜とユリディス活用のもつ意味
- 4) 垣浪文美香： タテ線譜を用いた鍵盤能力格差解消の試み
- 5) 五十嵐優： シニア対象タテ線譜講座・受講者の声 (DVD)
- 6) 阿方俊： 愛媛大農学部傘寿の会におけるタテ線譜の反応

・研究発表

- 1) 齋藤康之 et al.： 自動伴奏システム Eurydice のインターフェース改善と応用
- 2) 坂井康二 et al.： 高齢者施設における音楽活動

—タテ線譜とユリディス活用による新しい試みへ向けて—

2018 年第 14 回全国大会 (引用：学会誌 Vol.14,2019)

・ラウンドテーブル タテ線譜・ユリディスとは何か-IV —現状・課題・将来—

メインテーマ関連スピーチ

- 1) 阿方俊： タテ線譜メソッドの現状と課題
- 2) 齋藤康之： ユリディスの現状と課題

話題提供

- 1) 五十嵐優 : ユリディス活動の多様化のいろいろな可能性
- 2) 小澤真弓 : NPO 法人「歌のボランティア・いちかわシャンテ」の将来
- 3) 小熊達弥 : Eurydice による効果音付加の可能性について
- 4) 坂井康二 : 厚木市「ハーモニカの会」での Eurydice 活用事例
- 5) 永田晃弘 : Eurydice に関する産学共同研究実施状況

・研究発表

- 1) 齋藤康之、坂井康二 : Eurydice の介護老人保健施設および保育所における活用事例と将来

2019 年第 15 回全国大会（引用：学会誌 Vol.15,2021）

・ラウンドテーブル タテ線譜・ユリディスとは何か-V ―その融合的試行を追加する―

報告

- 1) 阿方俊 : 内モンゴルでのタテ線譜メソッド実践
- 2) 齋藤康之 : タテ線譜とユリディスの概要について
- 3) 坂井康二・五十嵐優 : ユリディス・タテ線譜の実用例
- 4) 齋藤康之 : 自動伴奏ユリディスとは何か

話題提供

- 1) 西山淑子 : タテ線譜から五線譜移行後の鍵盤指導について（やさしく弾こう講座の現状）
- 2) 橋川琢 : 音楽療法の立場からみたユリディスの効用
- 3) 小澤真弓 : 歌唱伴奏にタテ線譜とユリディスを活用する構想
- 4) 小熊達弥 : MIDI Time Code(MTC)によるオーディオ信号の伸縮制御

- 5) 永田晃弘 : Eurydice-D を採用したローランド新製品の紹介

2020 年全国大会中止

2021 年 3 月オンライン研究会

・研究発表

- 1) 阿方俊 : いきいき百歳ピアノ – タテ線譜 X 紙鍵盤による健康寿命への貢献 –
- 2) 五十嵐優、坂井康二 : コロナ禍で考えるユリディスの意義と活用
- 3) 永田晃弘 : Eurydice-D : 明治大学とローランドとの共同研究のその後について
- 4) 小熊達也 : 音の響きを豊かにする処理 : “バーチャルハーモニクス”について

2021 年第 16 回全国大会 (引用 : 学会誌 Vol.16,2022)

・ラウンドテーブル タテ線譜・ユリディスの今後の方向性- I

—“タテ線譜・ユリディスとは何か” シリーズのまとめと今後—

話題提供

- 1) 阿方俊 : ピアノ鍵盤譜による「いきいき百歳ピアノ」海外での反応
- 2) 石井良弥 et al. : 「いきいき百歳ピアノ」プロジェクト II
- 3) 坂井康二 : 厚木市「すみれ会」月例会におけるユリディスの活用
- 4) 齋藤康之 : Eurydice のこれまでと、今後の展開について

まとめとして今後は研究目的を「すべての人々に演奏の喜びを」と明確化し、そのための

電子キーボード音楽の利用環境を整備し提供していく事が示された。具体的なアプローチと

して、その際生ずる問題の細分化とその各々に対する解決方法（例えばタテ線譜、紙鍵盤、

ユリディス、) の提示を通じて、その効果の評価、課題の検討という方向があるとの示唆が
得られた。

・ 研究発表

- 1) 橘川 琢： キーボードと音楽療法の現場での一場面、QOL について